

ECONOMIST
IMPACT

メンタルヘルスケアの 再考:新たなアプロー チの活用

調査の概要



サポート:



Boehringer
Ingelheim

方法



目的

この調査プロジェクトでは、メンタルヘルス政策と実践の現状調査を目的としている。プロジェクトはまた、8 개국 (中国、フランス、ドイツ、イタリア、日本、スペイン、英国、米国) の精神保健分野において、各国で将来的に導入される可能性のあるイノベーション (特に個別化医療および精密医療) と、さらにその準備状況を調査することを目的としている。

方法

このトピックをより詳細に評価するために、Economist Impact は実践的な文献レビューを実施した。これには、世界的専門家 10 人へのインタビュー、対象国のメンタルヘルス専門家、政策立案者、患者団体を対象としたアンケート (175 人)、8 人のメンバーで構成されるグローバル運営委員会と、各国 41 人の専門家による、インタビューやワークショップを通じての意見が含まれる。

背景

現在、世界中で約 10 億人が精神疾患を抱えて生活している。¹ 精神的に健康であることは、個人が健康で生産的な生活を送るために最も重要であり、強固な経済の基盤でもある。^{1,2}

最も一般的な精神疾患は、世界経済に年間 1 兆米ドルの損失をもたらしていると推定されている。この損失は主に生産性の低下によって引き起こされており、2030 年までに 6 兆米ドルに増加すると予想されている。¹ 精神疾患は生活のあらゆる面に影響を与える可能性があり、障害や早期死亡の主な原因となっている。³⁻⁵

世界での主要な調査結果



この調査プロジェクトでは、メンタルヘルス政策と実践の現状調査において、改善が必要な分野、イノベーションが求められる主要分野 (特に個別化医療および精密医療)、イノベーションを受け入れるための準備状況の調査を目的としている。調査の対象国は、中国、フランス、ドイツ、イタリア、日本、スペイン、英国、米国である。この調査プロジェクトは、文献のスコーピングレビュー、並びに医療従事者、患者団体、政策立案者への調査、一連の専門家インタビュー、グローバル運営委員会、国内ワークショップ/インタビューに基づいている。これらの調査の流れを総合した結果をここに示す。

イノベーションはメンタルヘルスに対する態度の変化から始まる

スティグマと世間の認識。本調査対象国の全てにおいて、さまざまな形態のスティグマが問題となっている。スティグマは、メンタルヘルスに対する政治的な取り組みに影響を与える。具体的には、個々の政治家や政策立案者の意向だけでなく、一般の人々のメンタルヘルスへの考え方によっても、メンタルヘルスへの対策を求める声の大きさが左右される。スティグマがあると支援を求めることを躊躇し、治療が遅れ、その結果、症状が悪化する可能性がある。

- **課題解決に向けて**政策立案者やメンタルヘルス慈善団体などの組織は、一般市民への啓発

活動や、メンタルヘルスの治療を求めることを普通のこととするキャンペーンを通じて、スティグマに対処できる。これは一般的な精神疾患 (不安症など) に当てはまるが、スティグマが根深く残り続ける深刻な精神疾患 (統合失調症など) に特に焦点を当てる必要がある。

研修と定着率の向上が、人材課題克服の鍵

メンタルヘルス専門家のトレーニングと離職防止

この調査対象となった8カ国全てにおいて、専門家たちは精神科医の不足を報告している。これは、新規の研修医が退職医師と同等のペースで入ってきていないことが原因である。精神科看護師や心理士など、他の精神保健職種でも人材不足が見られるが、これは国によってばらつきがある。一般に、精神医学にはイメージの問題がある。精神医学は危険な医療分野であると認識されており、給与が比較的低いため、対象国の研修医にとって魅力のない専門分野となっている。

- **課題解決に向けて**政策立案者は、監査を活用してメンタルヘルス従事者の定着問題に対処するための第一歩を踏み出すことができる。このような監査は、従事者の分布と構成を理解するのに役立つ。また、戦略的な労働力計画に役立つ。また、従事者の満足度、離職の理由、離職後の職業を理解することは、定着に向けて的を絞った取り組みに役立つ可能性がある。メン

タルヘルス専門家の給与が比較的低いという根本的な問題は、限られた予算内で対処するのが比較的困難であるが、予算拡大が可能な場合はこの問題を除外すべきではない。医療カリキュラムを変更することで、精神医学が「危険な」分野であるという研修医の誤解に対処することができる。

初期研修が実践的な臨床慣習に沿っていること、初期研修によって革新的な考え方が生み出されること、並びに継続的な研修を通じて革新的な考え方が維持されることを確認する。初期のメンタルヘルス研修には、神経生物学と神経科学の最新の知見が反映されたものであるべきである。また、現役の精神科医やその他のメンタルヘルス専門家が、最新のエビデンスに基づく研究と実践について、常に把握しておくことも重要である。

- **課題解決に向けて**大学、医大付属病院、専門家団体は、最新のエビデンスと実践に沿った初期研修を確実に行うことができる。既存のメンタルヘルス専門家の知識・技能の向上を維持するために考えられる施策として、専門家団体

と監督機関による研修要件の遵守状況の監査(例えば、医師免許更新など)、および監査を通じた最新のエビデンスや実践に沿った継続学習を促すための、インセンティブの強化を行うことができる。

イノベーションとコラボレーションを促進するために従事者の意識を変える

メンタルヘルス専門家における、革新的な実践に対する認識と態度を改善する。革新的な実践の導入は、多くの場合、革新的な組織文化や熱心な個人に依存する。調査対象となったほとんどの国において、精神保健従事者(特に中年以上や過労気味の人たち)の間には、新しいアプローチを採用することに対する顕著な消極性が見られた。その理由として、特に、臨床的利益、コスト面での利益、実務的な利益が明らかでない場合、また、新しいアプローチに対する認知不足のために自信が持てない場合が挙げられた。この調査で相談した専門家は全員、自国の人口集団内で得られたエビデンスの必要性を指摘した。イノベ



診療行為の変更を決定する組織は、イノベーションがもたらす臨床的効果および費用対効果に関するデータ、つまり、変革を実行に移すための説得力ある根拠を必要としている。

イノベーションを実践に移すためには、単に目新しいものに飛びつくのではなく、現在の慣行よりも優れているというエビデンスが不可欠である。

- **課題解決に向けて**診療報酬支払者や臨床ガイドライン作成グループなど、診療の変更を決定する組織は、イノベーションがもたらす臨床的効果および費用対効果に関するデータ、つまり、変革を実行に移すための説得力ある根拠を必要としている。
- メンタルヘルス専門家の実務に肯定的な影響を及ぼし、時間節約の可能性などといった組織的課題にも対処できることを示すデータを含めることで、専門家が働き方を変える動機付けとするのが最も効果的である。

精神保健職種間連携の欠如。精神科医や心理士など、異なる職種の専門家が連携を取らずに個別に対応することが多いが、患者の治療にはより包括的で全体的なアプローチが求められている。調査対象国では、精神科医薬品の処方数の過半数が精神科を専門としない一般開業医で行われているが、同開業医とメンタルヘルス専門家との間の連携も不十分である。一般の人々にとって、メンタルヘルス専門家の役割が必ずしも明確ではないため、どこに支援を求めればよいのかわからず、治療やケアの遅れにつながる可能性がある。

- **課題解決に向けて**精神保健ケアにおける各職種を代表する専門家団体は、合同カンファレンスを開催したり、多職種チームを推進したり、職種横断的なガイドラインを作成したりすることで、より緊密な連携を促進することができる。例えば、精神保健サービス提供者は、メンタルヘルス専門家の役割の違いについて一般の人

々に情報を提供することで、どこにサポートを求めるべきか、十分な情報に基づいて決めるようにすることができる。

基本的なサービスと革新的なサービスへのアクセスを改善する

メンタルヘルスサービスの価格を下げてアクセスを改善する。特に公的医療機関では、ウェイトイングリスト(順番待ち)が長くなると、メンタルヘルスサービスにアクセスすることが困難になる。これは対象国すべてにあてはまる。革新的なアプローチ、特に一部の薬理遺伝学的検査は、概して保険の対象外であり、自己負担が必要となる。このような状況は、アクセスへのさらなる障壁となり、革新的なアプローチは研究目的や最終手段としてしか利用されないことが多くなる。

- **課題解決に向けて**革新的な治療法は、その臨床的および費用対効果を判断するための必要かつ厳格なプロセスを経る必要がある。規制当局と保険者は、患者のニーズ、安全、公的予算のバランスを取りながら、公的機関や民間部門のイノベーターとともに、革新的な医療へのアクセスを拡大するためのアプローチを実施することができる。医療サービスの提供者は、遠隔診療やデジタルサービスを検討することで、メンタルヘルスケアサービスへのアクセスを向上させることが可能である。

医療サービスへのアクセスのしやすさと受けられる医療の質の違い。調査対象となったいくつかの国では、精神保健従事者へのアクセスなど、サービスの利用可能性に地域差があるだけでなく、提供される医療の質や患者の全体的な転帰にもばらつきが見られる。このばらつきは、臨床ガイドラインの欠如または遵守が原因の一部となっている。また、地域差、特に都市部と地方部の人口差によっても差が生じており、各国内での不平等が生じている。調査対象国全体で、医療の質のばらつきを回避するために役立つ、医療の質と転帰を測定するための適切なメカニズムが欠如している。



- 課題解決に向けて**臨床ガイドライングループや専門家団体は、メンタルヘルスの専門家に、実践における不当なばらつきを減らすために、入手可能な最良のエビデンスに基づいたガイドラインと実践に従うよう奨励することができる。保険者と委託機関は、臨床判断、個人への対応、公平性を尊重しながら、ガイドラインやエビデンスに基づくベストプラクティスの遵守を促すインセンティブを検討することができる。

イノベーションを促進する環境整備

個別化した医療は人を中心とした医療であることを認識する。精神保健ケアにおいて、患者や介護者の声は意思決定の中心になっていないことが多い。しかし、患者や介護者は独自の貴重な視点を持っており、メンタルヘルスケアサービスの質の向上に貢献できる。

- 課題解決に向けて**ガイドライン作成者や専門家団体は、ガイドライン作成時に患者と介護者

の視点を取り入れることの重要性と価値を強調できる。個々のメンタルヘルス専門家は、診察・相談時に患者の希望や目標を把握することで、患者を中心とした医療を実践できる。

漸進的なイノベーションを促進する。現在研究されている革新的なアプローチの中には、日常診療に取り入れるまでには時間がかかるものもある。しかし、より個別化された医療をサポートするためのリスク層別化や臨床意思決定支援ツールなど、メンタルヘルスケアを向上させるための段階的なステップは今日でも取ることができる。

- 課題解決に向けて**段階的なアプローチを採用することで、システムがすべてを組み込む準備が整うまで待つのではなく、専門家に大きな衝撃を与えずに、革新的な実践の要素を取り入れることができる。このアプローチは、革新的な実践を探求しており、導入したいと考えているすべての関係者に役立つ可能性がある。

革新的なパートナーシップとコラボレーションの導入。この調査で相談した専門家によると、多くの国の公共部門が最先端で革新的なアプローチを実施する余裕がないことが報告されている。ただし、フランスは例外で、公共部門がイノベーションの拠点と見なされている。この状況はイノベーションを民間セクターに限定し、アクセス問題によってすでに存在する不平等を悪化させている。

- 課題解決に向けて**規制当局、保険者、公的部門および民間部門のイノベーターは、リスク分担などのモデルを検討することで、各関係者のリスクを軽減し、躊躇を減らしながら、革新的な医療の開発、テスト、導入を促進できる。

各国間での知識共有。他国での医療がどのように行われているかを理解し、医療を改善し、他国の実務経験を活用する方法でイノベーションを導入できるようにするためには、国内、および各国間のメンタルヘルス専門家同士の間のコミュニケーションが必要である。

- 課題解決に向けて**メンタルヘルス専門家のための各国専門家団体は、国内のさまざまなタイプのメンタルヘルス専門家間のコミュニケーションと国境を越えた知識共有を促進するこ

とができる。

日常診療に影響する臨床上の課題に取り組む

症状に基づく診断は完全ではない。メンタルヘルスの診断は、個人が訴える一連の症状をメンタルヘルス専門家が主観的に評価することに基づいている。このことは、患者を正確に診断したり、治療に最適なアプローチを選択したりする上で、多くの課題をもたらす可能性がある。

- **課題解決に向けて**診断マニュアルやガイドラインを作成・改訂する専門家団体や組織は、脳の生物学的メカニズムの理解が進むにつれて、診断マニュアルやガイドラインが現在の科学的知識に遅れを取らないようにすることが

できる。

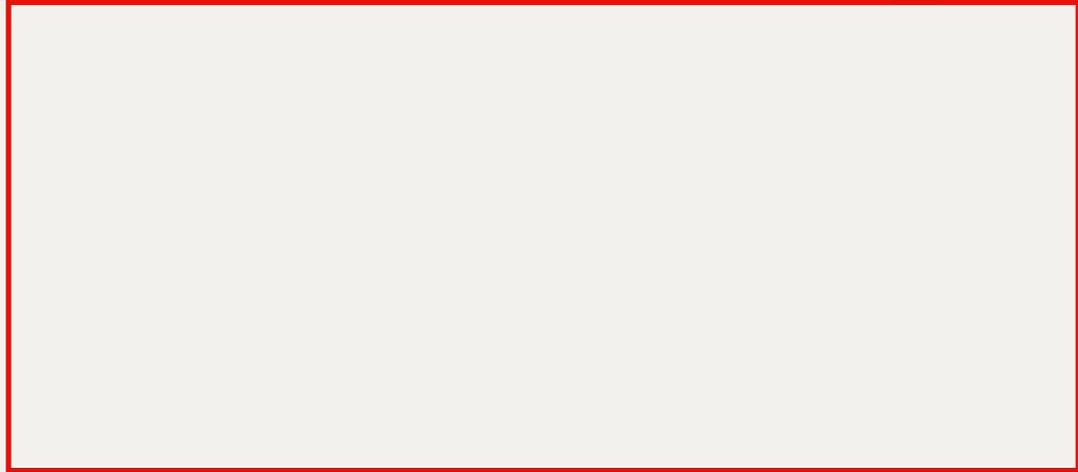
診察に十分な時間をとって、真に患者中心の医療を実践すること。一般開業医やメンタルヘルス専門家は、時間的制約や多忙な診療スケジュールのため、特に深刻な精神疾患を患う患者など、診察により長い時間が必要な場合に、患者中心の医療を十分に行うことが難しくなっている。

- **課題解決に向けて**個々のメンタルヘルス専門家は、特に深刻な精神疾患を患う患者を診る際には、その人をユニークな個人として評価し、患者中心の医療を提供することができる。診察時間が短い根本的な原因は、人手不足である。

参考文献

1. The Lancet Global Health (ランセット・グローバル・ヘルス)。Mental health matters (メンタルヘルスは重要である)。The Lancet Global Health (ランセット・グローバル・ヘルス)。2020;8(11):e1352.
2. OECD. Mental Health (メンタルヘルス) [インターネット]。欧州: 経済協力開発機構 (OECD)。参照元: <https://www.oecd.org/els/mental-health.htm>。
3. PAHO (汎米保健機構)。「精神衛生上の問題は世界中の障害における主な原因である」と専門家が述べた (PAHO 監督委員会のサイドイベントにて)。ワシントン DC: 汎米保健機構、2019年。参照元: https://www3.paho.org/hq/index.php?option=com_content&view=article&id=15481:mental-health-problems-are-the-leading-cause-of-disability-worldwide-say-experts-at-paho-directing-council-side-event&Itemid=0&lang=en#gsc.tab=0。
4. WHO (世界保健機関)。包括的メンタルヘルス アクションプラン 2013 - 2030。世界保健機関、2021年。参照元: <https://iris.who.int/bitstream/handle/10665/345301/9789240031029-eng.pdf?sequence=1>。
5. WHO (世界保健機関)。World mental health report: transforming mental health for all (世界メンタルヘルスレポート: すべての人のメンタルヘルスの変革)。ジュネーブ: 世界保健機関、2022年。参照元: <https://iris.who.int/bitstream/handle/10665/356119/9789240049338-eng.pdf?sequence=1>。

この情報は可能な限り正確に検証されていますが、Economist Impact は、このレポート、またはレポートに記載されている情報、意見、結論に依拠したことに対する責任を一切負いかねます。レポートで表明された調査結果や見解は、必ずしもスポンサーの見解を反映するものではありません。



ロンドン

The Adelphi
1-11 John Adam Street
London WC2N 6HT
United Kingdom
電話: (44) 20 7830 7000
Eメール: london@eiu.com

ジュネーブ

Rue de l'Athénée 32
1206 Geneva
Switzerland
電話: (41) 22 566 2470
ファックス: (41) 22 346 93 47
Eメール: geneva@economist.com

サンパウロ

Rua Joaquim Floriano,
1052, Conjunto 81
Itaim Bibi, São Paulo,
SP, 04534-004, Brasil
電話: +5511 3073-1186
Eメール: americas@economist.com

ニューヨーク

900 Third Avenue
16th Floor
New York, NY 10022
United States
電話: (1.212) 554 0600
ファックス: (1.212) 586 1181/2
Eメール: americas@economist.com

ドバイ

Office 1301a
Aurora Tower
Dubai Media City
Dubai
電話: (971) 4 433 4202
ファックス: (971) 4 438 0224
Eメール: dubai@economist.com

ワシントン DC

1920 L street NW Suite 500
Washington DC
20002
United States
Eメール: americas@economist.com

香港

1301
12 Taikoo Wan Road
Taikoo Shing
Hong Kong
電話: (852) 2585 3888
ファックス: (852) 2802 7638
Eメール: asia@economist.com

シンガポール

8 Cross Street
#23-01 Manulife Tower
Singapore
048424
電話: (65) 6534 5177
ファックス: (65) 6534 5077
Eメール: asia@economist.com